

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

作業療法学分野

医療福祉学研究科

- 修士課程 保健医療学専攻
- 博士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

分野責任者ごあいさつ



作業療法学分野責任者
谷口 敬道

経歴

作業療法士。工学博士。国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業。東京理科大学、日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻博士課程修了。社会福祉法人重症心身障害児施設毛呂病院光の家での臨床経験をj経て、1993年財団法人国際医療福祉大学設立準備室に入職。本学の創設に参画し現職。専門は小児作業療法学。重度の障害児の療育から通常学級・支援学級、特別支援学校における特別支援教育など幅広く活躍。

貴方の『臨床疑問』を『研究疑問』へ

作業療法学分野では、充実したゼミ時間の確保により皆さんの臨床疑問を研究できる形に発展させます。自ら立案した研究計画に基づいて成果を確認する過程は作業療法士の専門性を高めることに役立ちます。

本分野には、実にさまざまな領域で活躍される作業療法士の方々が集います。その皆さんの実践における臨床疑問を、研究できる形の研究疑問に育て、実際に研究できる形にするプロセスはとてもエキサイティングです。研究活動を通して自分の臨床を振り返り、論理的思考を高めましょう。また、教育機関に所属する皆さんとは、学生の豊かな人間性を大切にす教育者をめざして研究を進めたいと思います。

本分野で身につくリテラシー

- 日常の問いや疑問を、研究可能な疑問として系統的な探索を通じて解決するための「論理的問題解決技術」
- 先行文献を系統的に検索して、必要な文献を見つけて、内容を批判的に正しく理解するための「文献検索・読解技術」
- 量的データを、統計解析ソフトウェア (SPSS や R 等) を使用して、正しく処理し分析するための「量的データ処理技術」
- 質的データを、コーディングやソフトウェア (Nvivo や SCAT 等) によって、正しく処理し分析するための「質的データ処理技術」
- 研究成果を論理的かつ魅力的に報告するための「プレゼンテーション技術」

分野の特長

■ 作業活動支援学領域

作業療法の実践を支える理論、すなわち損なわれた精神と身体に対して作業活動を提供する意味を説明する諸理論を歴史的に考慮し、作業療法の原理を探ります。また、精神や身体が損なわれることによって生じる作業行動の障害を分類しその体系を考察します。これらの体系を通じて、作業（作業活動）を臨床的に応用する適用水準について考察を深めます。

■ 作業活動分析学領域

人の日常生活や社会生活の基盤となる作業活動とその遂行を科学的にとらえる方法論を学び、作業療法の実践に寄与する研究法を探索します。作業療法学分野には脳機能計測装置として近赤外分光法 (NIRS: near-infrared spectroscopy)、脳波による事象関連電位 (ERP: event-related potential) などの設備も充実しています。



ゼミの様子



研究指導の様子

分野・領域内での定期的なゼミ開催のほか、分野内の研究進捗報告会を年4回、また大学院全体の研究報告会が学年ごとに年1回開催されており、研究について自分分野のみならず、他分野・他領域の院生や教員から意見をもらう機会が多くあります。

■ 教育内容のご相談

谷口 敬道 教授 (taniguchi@iuhw.ac.jp)

■ 学校生活のご相談

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス事務局
TEL:03-5574-3900 Mail:tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

■ 入試に関するご相談

国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス入試事務局
TEL:03-5574-3903 Mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

詳細は国際医療福祉大学大学院のホームページをご覧ください

国際医療福祉大学大学院

検索

修士課程・博士課程 コア科目

作業活動支援学領域科目

—— 修士課程 ——

- 作業活動支援学講義 I・II
- 作業活動支援学演習 I・II
- 作業活動支援学研究指導 I～IV

—— 博士課程 ——

- 作業活動支援学講義・演習
- 作業活動支援学研究指導 I～III

作業活動分析学領域科目

—— 修士課程 ——

- 作業活動分析学講義 I・II
- 作業活動分析学演習 I・II
- 作業活動分析学研究指導 I～IV

—— 博士課程 ——

- 作業活動分析学講義・演習
- 作業活動分析学研究指導 I～III

選択科目 他

■ 教育学

※新指定規則（2020年度施行）では、教員要件として5年以上業務に従事したもので、厚労省が指定した専任教員養成講習会を修了した者と見直しています。ただし、大学又は大学院において4単位以上の教育に関する科目を履修して卒業した者は、5年又は3年以上業務に従事していれば専任教員になることができるとしています。
※本大学院では、教育に関する科目を履修して卒業することができます。

- 修士課程・博士課程のための研究法入門
- 統計学
- 質的研究法概論
- リハビリテーション学講義 I・II
- PT・OTのための画像診断

他多数

eラーニングやオンラインおよび各キャンパスを遠隔システムで繋いだ学修展開が魅力！

先輩からのメッセージ （勤務先は取材当時）

渡部 誠一 さん 博士課程修了／那須高原病院 勤務

博士課程には修士課程で新たに生まれた疑問を解決したいと考えて進学しました。また博士課程で求められる新規性、つまり研究として世界で明らかになっていない部分を自身が証明することに挑戦するつもりで進みました。本学の魅力は、様々な分野の作業療法士が集い院生として自らが興味のある分野や事象について探求することを作業療法学分野の先生方だけでなく他分野の先生方も励行し、惜みなく指導してくれる点であると思います。そうした環境のなかで先生や院生間で議論をし、自分の臨床、研究、論文に向き合い、自分の生活にも向き合い、研究だけではなく物事を俯瞰した見方をできるようになる機会が得られることも大きな魅力だと思います。

魚岸 実弦 さん 博士課程修了／メンタルホスピタルかまくら山 勤務

他校の修士課程において、精神保健福祉領域のピアサポートに関する研究に取り組みました。その研究によって新たな課題が明らかになり、博士課程に進学し、研究を継続したいと強く思っていました。学生としての最後は母校だという気持ちがあり、ご縁を頂けることになりました。研究をするにあたり、幅広い見識を備えた先生方の存在や、動きながら通学しやすい環境も決め手でした。大学院を目指す皆様のなかには、仕事やご家庭を持たれている方々が少なくないのではないのでしょうか。本学は夜間の授業が主体であり、オンライン環境も整備されています。また、自宅のパソコンからの講義受講も可能であり、文献検索もお手元のスマートフォンやパソコンから行えます。そして、共に学ぶ院生の数も多く、互いに研鑽し合える環境が魅力です。

川畑 巧 さん 修士課程修了／栃木県医師会塩原温泉病院 勤務

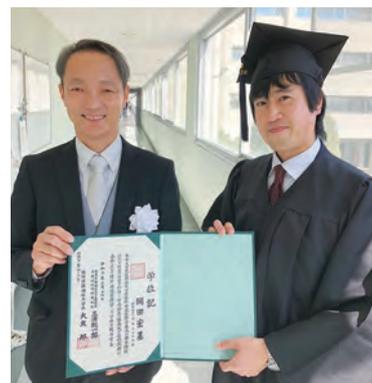
研究というものを経験してみたかったという思いがあり、指導教員と相談させて頂き、周囲からも後押しされたことで進学を決めました。臨床をしながらでも通う事ができることや、キャンパスへ通えなくてもオンライン等で連絡ができ、研究に対しての相談ができることや、研究に対してのサポートが手厚いことは魅力であると思います。

坂主 成美 さん 修士課程修了／国際医療福祉大学塩谷病院 勤務

大学関連施設への入職がきっかけであり、多くの職場の先輩も大学院に進学していることで、新社会人として病院勤務しながらも大学院に通うことに対する周囲の理解が得られる状況であったことが一番の理由です。また、自分のキャリアアップのためにも大学院での学びは将来作業療法士としての知識や考えがより一層深まると思ったからです。本学の魅力は病院勤務しながら大学院に進学でき、両立させながら研究も実施できることだと思います。大学院での研究はとても取り組み難いイメージがあるかと思いますが、自分の興味のあることや疑問に思うことなど身近に感じることから研究を進めていくため、その分野での知識が自然と身に付きます。自分の知りたいことが深められる良い機会であって、研究の面白さを感じることができます。

鈴木 駿太 さん 修士課程修了／国際医療福祉大学病院 勤務

大学病院での臨床3年目を迎えて、経験を積むなかで持った疑問や主観的な印象を研究という形にして検証する方法を学びたいと考えました。職場が本学関連施設という事もあり、上司の理解もあったため、挑戦してみたいと思いました。動きながら大学院に通うことに指導教員の理解もありました。指導日を院生に合わせてくれる事、オンラインを使用して進捗状況の報告を業務後の遅い時間等にも設定してくれること等、多くの先生方が院生の都合に合わせて指導を頂きました。そのため、業務を優先しながらも大学院での勉学を継続することができます。



国際医療福祉大学大学院

保健・医療・福祉専門職のキャリアアップを支援

「働きながら大学院で学びたい」社会人が学びやすい本学大学院の特長

全国7都市（栃木県大田原市・千葉県成田市・東京都港区・神奈川県小田原市・静岡県熱海市・福岡県福岡市・福岡県大川市）にキャンパスを展開する国際医療福祉大学大学院は、平日の夕方以降や土日祝日に授業を集約したカリキュラムとさまざまなICT教育ツールにより、全国の社会人の学びを支援しています。



ICT教育ツール

- 1 居住地に近いどのキャンパスでも臨場感あふれる映像・音声で受講できる、同時双方向遠隔授業システム
- 2 自宅など、どこからでも手軽に授業や研究指導を受けられる、Webコミュニケーションツール
- 3 通勤・休憩時間など、いつでもどこでも自分の都合に合わせて学修できる、eラーニングシステム
- 4 多数のコンテンツで保健・医療・福祉を幅広く学べる、VODライブラリー

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野 (旧:ナースプラクティショナー養成分野)
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 遺伝カウンセリング分野
- 医療機器イノベーション分野
- **医療福祉経営専攻**
- 医療経営管理分野
- 診療情報アナリスト養成分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 医療通訳・国際医療マネジメント分野
- **臨床心理学専攻**

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 医療遺伝学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

薬学研究科

博士課程 (4年制)

医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程 (2年制)

生命薬科学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基礎医学研究分野
- 社会医学研究分野
- 臨床医学研究分野

修士課程

公衆衛生学専攻

- 国際医療学分野
- 疫学・社会医学分野
- 医療福祉管理学分野
- 予防医学分野

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス事務部

Tel : 03-5574-3900 〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

Tel 03-5574-3903

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

HP



国際医療福祉大学

□ 大田原キャンパス

- 保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科
- 医療福祉学部：医療福祉・マネジメント学科
- 薬学部：薬学科 (6年制)

□ 成田キャンパス

- 医学部：医学科
- 成田看護学部：看護学科
- 成田保健医療学部：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科、放射線・情報科学科
- 臨床工学特別専攻科 (1年制)
- 介護福祉特別専攻科 (2年制) ※2023年4月開設予定

□ 東京赤坂キャンパス

- 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部：心理学科、医療マネジメント学科

□ 小田原キャンパス

- 小田原保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科

□ 大川キャンパス

- 福岡保健医療学部：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科
- 福岡薬学部：薬学科 (6年制)

国際医療福祉大学 附属病院

- 国際医療福祉大学病院 (栃木県)
- 国際医療福祉大学塩谷病院 (栃木県)
- 国際医療福祉大学成田病院 (千葉県)
- 国際医療福祉大学市川病院 (千葉県)
- 国際医療福祉大学三田病院 (東京都)
- 国際医療福祉大学熱海病院 (静岡県)